

# 「地震は自然現象であるが、地震による災害の多くは人災である」(1971年制定の東京都震災予防条例の前文)

## 小池あきらの震災予防宣言



都知事予定候補 革新都政をつくる会

2011年3月22日 小池あきら

小池あきら都知事予定候補は、「いのちを守る福祉・防災都市東京、小池あきらの都民へ呼びかけ」に続いて、3月22日標記の『小池あきらの震災予防宣言』を発表しました。

### 都民のみなさん

東日本大震災は、かつてない規模の大災害となりました。今この瞬間も現地では、懸命の救援活動が行われ、命がけの原発事故対策が進められています。

私は、お亡くなりになった方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。そして現地で救援にとりくまれているすべてのみなさんに敬意を表するものです。

このような中でおこなわれる東京都知事選挙にあたって、私は、すべての東京都民が立場の違いをこえて、行政も住民も企業もNPOも、心ひとつに被災地の救援と復興にとりくむことを呼びかけるとともに、私自身がその先頭に立って奮闘します。

同時に、私は、知事となって、被災者の救援、被災地の復興、都民の安全と生活の防衛のために総力をあげてとりくむ都政をつくること、「いのちを守る福祉・防災都市東京」へと都政を転換することを訴え、ここに私の震災予防宣言を発表し、実現に全力をあげます。

## 1 東日本大震災の被災者救援・復興支援と、都民の安全確保に総力をあげる

### ■東日本大震災の被災者救援、被災地復興支援に、東京都が持つ力を総發揮する

被災者の救援と被災地の復興に、今こそ首都東京の持てる力をすべて出しつづけます。私は、都民の支援活動の先頭に立つことを、東京都知事としての最初の大きな仕事として取り組みます。

#### ○被災地への救援物資輸送と救援チーム派遣をつよめる

被災地に救援物資をただちに届けます。被災者のいのちと健康を守るため、東京都のハイパーレスキュー隊や、医師や看護師などの医療救援チームの派遣を、抜本的につよめます。

#### ○大震災の被災者と原発事故からの避難者の受け入れを、抜本的にふやす

被災地からの住民の受け入れのために、いま東京都が提供しようとしている公営住宅は600戸ですが、都営住宅だけでも募集停止している空き家をはじめ1万戸以上が活用可能であり、これを最大限提供します。また区市町村とも協力し公共施設なども活用します。さらに民間宿泊施設の借り上げもおこない、首都東京の持っている条件を総動員します。

#### ○被災地の復興、地域コミュニティ再建を支援する

今回の大震災は史上かつてなく広範囲で大規模な被害をもたらしただけに、被災地の復興に要する期間も費用も、これまでの災害とは比べものにならない、国を挙げての一大事業になることが予想されます。生活再建を復興の土台にしなが、住民の合意にもとづいて、行政機能の回復と失われたコミュニティの再建を進めるために、東京都の持っている人的・財政的力を発揮します。

#### ○被災地からの児童・生徒の教育に支障のないよう確実に受け入れる。被災地出身の学生への緊急奨学金の支給と家賃補助をおこなう

### ■原発事故による放射能汚染から都民のいのちと健康を守る

福島第一原子力発電所での、日本の原発史上最悪の事態が、都民のあいだに大きな不安を広げています。東京都としても、時々刻々の正確な情報を都民に公開するとともに、都民のいのちと健康を守るために、あらゆる事態を視野に入れた対策をつくり、実施します。

#### ○中央防災会議の「基本計画」にもとづいて、放射線観測をおこなうモニタリングポストを都内各所に緊急に増設する

現在、都としての放射線測定施設は1カ所しかありません。緊急に都内各所に増設します。

#### ○医療機関の放射性同位元素の管理や核燃料物質運搬中の事故への対応策を抜本的に強化する

#### ○ヨウ素剤を、都が責任をもって地域ごとに確保・備蓄し、緊急時に対応できるようにする

#### ○全国の原子力発電所の総点検、安全最優先での原子力行政の見直しを国に要求する

#### ○「原発のみ」でなく、自然エネルギーへの転換をすすめるよう国に要求するとともに、東京都として自然エネルギーの開発と普及の具体的目標をもって積極的にとりくむ

原発のみの政策からの計画的な脱却をはかり、太陽光・熱、風力、水力、バイオマス(生物資源エネルギー)など、再生可能エネルギー中心の政策に転換していかなければなりません。ドイツではすでに発電力の16%(2009年実績)を再生可能エネルギーでまかなっており、2020年には30%、2050年には80%をめざしています。東京での再生可能エネルギー活用の具体的な数値目標をつくり、エネルギー自給自足のまちづくりに本格的にと

りくんでいきます。

### ■大震災の影響から都民の安全とくらしを守る

東日本大震災では、東京都民も大きな揺れに見舞われ、死亡を含む人的・物的被害もたらされ、生活に多くの影響を受けました。この意味で、都民も被災者です。私は、被災地の救援・復興と同時に、都民の生活を守ることを、都知事の責務として全力を尽くします。

#### ○都民のいのちと“足”にかかわる電力を確保する

「計画停電」によって、鉄道の運行が制限され、都民の通勤・通学や外出に多大な困難が生じています。水道の断水・濁水による被害があり、医療機関や介護施設、在宅医療の現場や学校給食などにも深刻な影響が出ています。「計画停電」の発表が前日の夜遅くになったり、発表内容が二転三転するなど、周知のまづさが混乱に拍車をかけています。

鉄道や水道、医療機関や介護施設、在宅治療中の患者さんなどに最優先で電力を供給するよう東京電力に強く求めます。ガソリンや軽油などの燃料不足が、消防・救急医療や医療機関、介護施設の停電時の自家発電などに影響を及ぼさないよう、関係業界、事業者に安定供給を求めます。同時に東京都としても発電機や燃料の緊急提供など、最大限の対応をします。

#### ○物不足を打開する

食料、燃料などの日用品不足も深刻になっています。被災者や買い物が困難な高齢者などへの物資の供給のためにも、買い占め売り惜しみもやめて、都民が力を合わせてこの困難を乗り越えていくことを心から呼びかけます。

#### ○液状化対策をすすめる

江東区や江戸川区などで液状化現象が起り、都営住宅の建物や土台への亀裂が発生し、断水や下水道管の破断も起きています。住民の不安にこたえる緊急対策とともに、液状化の危険性のある地域の総点検をおこないます。

#### ○大規模火災の危険地域への緊急対策をおこなう

今回の大地震により、東京都に隣接した千葉県市原市で石油タンクの火災が発生しました。京浜湾岸地域には、石油タンク、液化天然ガス貯蔵施設、劇物タンクなどが集積しており、これらの施設が炎上したり損壊したら、生活や経済への影響ははかりしれません。神奈川県や千葉県とも協力し、施設の総点検をおこない、緊急に安全化をすすめます。

#### ○築地市場は、豊洲移転計画を白紙撤回し、現在地での再整備をすすめる

築地市場の移転先とされている江東区豊洲の東京ガス工場跡地で、液状化現象が確認されました。たとえ表層の土壌対策をおこなっても、地中の有害物質が噴出する危険性が否定できません。そうなれば首都圏全体の食料品供給がストップするという重大事態に発展します。豊洲移転は白紙撤回し、今回の地震でも被害のなかった築地で、耐震化も含めて再整備するための計画を都の責任のもとに英知を集めて作成し、実施します。

## 2 予防重視の原点に帰って都の防災政策を転換する

### ■都政の震災対策を予防重視に立ちかえらせる

1971年に制定された東京都震災予防条例は「地震は自然現象であるが、地震による災害の多くは人災である」(前文)として、都民の生命と財産を守るために全力をつくすことを表明しました。この条例にもとづき、木造密集地域対策としての白髭東防災拠点(墨田区)の整備や広域避難所の整備などが進んだのです。

しかしこうした施策はその後、後退を続けました。そして石原知事が就任後最初に手がけたのが震災予防条例の改悪でした(2000年)。新たな「震災対策条例」は、それまでの震災予防条例の理念を180度転換させ、前文で震災対策の原則の「第一は『自らの生命は自らが守る』という自己責任原則による自助の考え方」だとしたのです。

このため、都民の住宅を火災や倒壊から守るための都独自の支援がほとんどおこなわれませんでした。震災対策事業予算(2008年度)は、石原都政になる前の1997年度の半分以下に、石原都政発足の1999年度と比べても1千億円以上も減らされました。木造住宅密集地域の改善や、地下街などの都市施設やライフラインの安全対策、100万戸を超えたといわれる分譲マンションの安全確保や、今回の地震でも問題になった数百万にのぼる帰宅困難者対策など、未解決の課題が山積みになっています。東京都の人口当たりの救急車の数は全国最低、消防ポンプ車の数も全国46位で、倒壊した家屋などから



救助活動を行うための東京消防庁の重機は全都でわずか8台と大きく遅れています。

その一方で、石原都政は、超高層ビルと大型道路優先の「都市再生」により、都心部への集中を加速させて超過密都市をつくり、大地震時の被害が複合的で大規模になる危険を生み出しています。

私は、都の震災対策を、かつて都がかかかぎてきた「地震による災害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めることができる」という、予防対策を重視する立場に立ちかえらせます。

東京は地震に弱い都市です。ドイツのミュンヘン再保険会社が作成した災害リスク指数で、東京は第1位の710であり、第2位のサンフランシスコの167と比べても、格段に危険な都市に位置づけられています。こうした認識に立ち、東京という都市の構造を危険にする要因の一つひとつを取り除き、一つひとつの住宅、一つひとつの地域を、地震につよい安全な構造にしていこうと全力をつくします。

○予防を軽視し、自己責任原則を都民に押しつける「震災対策条例」を、予防にたいする都の責任と義務を明確にした新たな条例へと抜本的に改正する

○東京都地域防災計画を全面的に見直し、体制も強化する

東京直下型地震がいつ発生してもおかしくないとされ、発生すれば建物の全壊・焼失85万棟、死者1万2千人と想定されています。立川断層地震の危険も含め、これらの想定に対応できるように、東京都地域防災計画を全面的に見直します。

また、現行の東京都地域防災計画は、震度を最大6強に想定してつくられており、地震にともなう水害も基本的に想定外となっています。これを、今回の東日本大震災をふまえ、震度7や水害を想定したものに改めることを含め、専門家の協力のもとに抜本的に見直し、体制を強化します。

なお、被害想定の全面的な見直しに合わせて、復興計画についても踏み込んだ検討が必要になります。都民のくらしの再建を最優先に位置づけ、住宅、雇用、営業再開などへの支援を抜本的につよめる体制を、区市町村や企業、経済団体と協力して強化することを含め、総合的な復興計画をつくります。

### ■津波・水害対策をすすめる

東京湾は入口が狭く、内部が広い構造になっているため、直下型地震が発生しても津波は1m前後と想定されています。しかし、地球温暖化が進行し海面が上昇する危険もあり、今回の東北での経験などをふまえて、津波・水害対策を再検討します。

○緊急に海岸や河川の護岸・堤防を総点検し、地震による液状化現象などにより亀裂や崩落が発生することによる水害を防止するための補強など、必要な対策をすすめる

○伊豆七島や小笠原諸島での津波対策を強化する

### ■個人住宅や公共施設の耐震化、不燃化を急速にすすめる

都内には、耐震性に乏しく、地震発生時に倒壊する危険がある木造個人住宅が100万棟以上あり、約50万棟が全壊または半壊すると想定され、さらに400万戸を超える共同住宅が建っており、これらの住宅の倒壊防止と不燃化が緊急に求められています。ところが、石原都政が自己責任論に立っているため、個人住宅にたいする耐震化助成は、木造住宅密集地域のごく一部に限定されています。

○緊急計画を立て、木造住宅密集地域をはじめ、個人住宅の耐震・不燃化にたいする大幅な助成制度をつくる

○そのさい、1室だけの耐震化や、耐震シェルター、耐震ベッドなどの確保にも大幅な助成をおこなう

○アパート、マンションや木造賃貸住宅の耐震診断・改修への助成を大幅に拡充する

○小中学校、高校などの耐震化を一刻も早く100%達成する

○災害時の避難場所や活動拠点ともなる体育館、公民館などの耐震補強工事にたいする助成をおこない、耐震化を緊急にすすめる

### ■超高層ビル、地下街などの防災対策を強化する

○超高層ビルの「制震性能」を補強、整備する

マグニチュードの大きな地震が引き起こす長周期震動によって、超高層ビルが大きく揺れ、室内の構造物や備品が倒れたり、窓を突き破って落下する危険が指摘されています。揺れをおさえる「制震性能」を補強、整備させます。

○超高層マンションの安全性を総合的に高める

超高層マンションは、地震発生時にガスや水道などライフラインが破壊され、住民が住めなくなる危険があります。超高層マンションの安全性を総合的に総点検し、必要な対策、誘導、規制をすすめます。

○地下街は、パニック対策や水害対策がきわめて不十分であり、安全化対策をすすめる

### ■鉄道、道路、橋の安全化をすすめる

○鉄道の安全性を、専門家の協力で総点検し、震度7に対応した対策をとらせるとともに、鉄道独自の電源確保策をすすめさせる

○道路と橋の安全性を、専門家の協力で総点検し、地中部分も含めて震度7対応の耐震補強をすすめさせる

首都高速道路について、石原都政は、橋脚の耐震補強を100%完了したから安全だといっていますが、橋脚の地中部分の補強はおこなわれていません。

### ■電気、ガス、上下水道など、ライフラインを安全化する

○東日本大震災をふまえて、ライフラインの総点検をおこない、大規模地震に対応できる安全化をすすめる

都の計画では、震度6クラスの地震が発生した場合、停電率は9.2%、ガスの供給停止

率は6.4%、水道の断水率は24.5%としています。1週間でほとんどの地域で復旧、1ヵ月で100%復旧すると想定しています。しかし、これは専門家などの検証を得たものではなく、あくまでもそれぞれの事業者が出した目標にすぎません。震度7クラスの揺れに対応したものでありません。

○耐震貯水槽を緊急計画ですべての地域に増設する

革新都政時代からとりくまれた耐震貯水槽などの整備は、一部の地域を除いてようやく一定程度まで整備されました。しかし、数百万人におよぶ昼間人口が帰宅困難者となって滞在することなどに対応したものではありません。

○白ガス管の取り替えなど、出火原因となる問題をとりぞく

### ■消防力を抜本的に強化する

都の被害想定によれば、区部直下型地震が発生した場合、火災で焼失する家屋は31万棟にもおよぶとされています。ところが、都の消防ポンプ車の整備は、人口10万人あたりの台数が全国46位、救急車は全国最低です。全壊する建物だけで十数万棟におよぶと想定されているのに、これを取り除き、人命を救助したり、道路を確保するための重機やクレーン車も、都はそれぞれわずか8台と3台しか所有していません。

○消防車・救急車、ハイパーレスキュー隊や、がれき除去のための重機などを緊急に大幅に増やし、消防・救急体制を抜本的に強化する

### ■地域力を活かした防災対策と帰宅困難者対策を強化する

○地域や中小企業の防災対策強化を支援する

地域ごとに危険要因を明らかにし、地域ぐるみで安全化対策をすすめます。防火水槽を地域ごとに整備し、消防分団や小型ポンプ車の配備をふやすことなどによって、地域の消防団や市民防災組織、企業の力を合わせた地域力で初期消火をすすめられるようにします。中小企業には必要な助成を含めて支援します。防災訓練は、この地域力を引き出すことを重視します。

○帰宅困難者対策のため、都・区市町村・企業の協力を推進する

首都直下型地震が発生した場合、帰宅困難者は390万人に達すると想定されています。都や区市町村、企業などが協力して、帰宅困難者の水や食糧を提供できるよう、備蓄をすすめます。企業で働く労働者も、家族との安否確認ができれば、従業員で災害ボランティアとしての有力な一員にもなります。そのための安否確認システムをととのえ、企業の業務復旧計画と地域の災害応急対策への協力を両立させる計画づくりをすすめます。

## 3 「福祉都市」であってこそ、災害時にも都民のいのちを守ることができる

### ■ふだんから医療・福祉・住宅などの都民施策を充実させる

都市と社会に、ふだんから医療、介護、福祉、子育て支援、住宅確保のつよい基盤があってこそ、災害時にも力を発揮します。東日本大震災でも、いちばん深刻な被害が出ているのが“災害弱者”と呼ばれる高齢者、障害者、妊産婦や子どもたち、そして病気を抱える人たちです。「福祉都市東京」をつくることの重要性は明らかです。

○都立病院つづしをストップし、公的な医療・介護のネットワークをつくる

医療や介護を担う医師、看護師、保健師、介護士などを育成し、確保します。ドクターヘリ、救急車、救急隊員など、救急医療体制を充実させます。

○特別養護老人ホーム、グループホームの増設を急ぐ

○待機児ゼロめざし、認可保育所を増設する

○国民健康保険料(税)を1世帯あたり1万円引き下げる

○18歳までと75歳以上の医療費を無料化する。65歳以上の医療費を1割負担へと引き下げる

○シルバーパスの負担を、所得に応じた3千円パス発行で軽減し、多摩都市モノレールにも適用する

○都営住宅を年間2,000戸つくる

○都内の全線・全駅のホームへの可動式安全柵の設置を促進する

○バリアフリー化促進の観点からも、住宅リフォーム助成制度の創設

### ■いのちを軽んじてきた石原都政をチェンジ!

石原都知事は「何がぜいたくかといえばまず福祉」と言って、その言葉どおり、医療・介護をはじめとして、多くの福祉施策を冷酷に切り捨てました。16あった都立病院を8つにしてしまいました。東京都の歳出に占める老人医療費の割合は、全国2位から47位＝最下位へと転落しました。

福祉切り捨ての都政も、防災を“都民まかせ”で後退させてきた都政も、いのちを軽んじるという点で、根っこは同じです。石原知事の「津波は天罰」発言も、撤回はしましたが、知事の基本姿勢の表れだといわなければなりません。

いまこそ、こうした石原都政を“チェンジ”すべきときです。私・小池あきは、「何が大切かといえばまず福祉」という都政に転換します。憲法第25条が文字どおり実行され、誰もが人間として尊重されて生活していける東京をきずきます。

### 都民のみなさん

「いのちを守る福祉・防災都市東京」への転換で、医療・介護・福祉を充実させ、一人ひとりの人生と生活が大切にされるとともに、災害にもつよい東京を、ごいっしょにつくろうではありませんか。

私、小池あきは、心から呼びかけるものです。